

# 新たな市場を創るための実証実験

地場産品だけでは品不足になりがちで、もっと商品が欲しい都市部の直売施設。一方、豊富に商品があり、新たな売り先を求めている地方直売施設。

この都市直売と地方直売が連携して、新たな市場を創るための実証実験を行います。

都市部の消費者はどんな商品をお求めしているのか？ 物流費がかかっても採算は合うのか？・・・

千葉・和歌山・鹿児島直売施設がそれぞれ都内の3つの直売施設に農産物等を直接配送。イベント販売を通じて、このような「？」の答えを見つけます。期間中、是非ともお立ち寄りください！！



出荷品目は天候等の条件により変更される場合があります。

地方直売施設と都市部直売施設の相互の課題を克服し、持続的な連携につなげるための方策を検討するため、以下の点を明らかにします。

- 都市部消費者の地方直売施設の商品・価格の受容性について。
- 消費を喚起させる効果的な販売促進活動とは何か。
- 最適な物流システムは何か、また、事業採算性は確保できるか。
- 持続的な取組に向けての要件（ビジネスモデルの成立要件）とは何か。

実証事業 1

**地方直売施設**

道の駅富楽里とみやま（千葉県南房総市）

大都市近郊の交流拠点であり、水産物、特産加工品も直売するハイウェイオアシス。温暖な気候を活かし、冬場においても豊富な野菜が生産・出荷されている。アクアライン経由で、都内まで1時間強の立地にある。

**都市部直売施設**

農家の野菜鳥山店（ファームドウ）

群馬県等の出荷者から物流網を整備して、都内での多店舗展開（現在都内に6店舗）を進める民間の直売施設。店舗面積約150㎡。新宿から京王線で15分の芦花公園下車5分。周辺は閑静な住宅街である。

**実施内容**

実施日時：2月7日（日）～2月14日（日）の8日間、午前10時頃（商品到着次第）～売切れまで（直売施設の閉館時間は午後9時）  
 主な出荷品目：なばな・だいこん・キャベツ・ほうれんそう・ねぎ・ブロッコリー・カリフラワー・切花・地域特産加工品等

実証事業 2

**地方直売施設**

めっけもん広場（JA紀の里）

年間20億円を超える全国屈指の直売実績を持ち、大規模な産地を背景に果実・野菜を中心に年間を通して豊富な品揃えが可能。関西空港から車で約1時間の立地。都市近郊型であって、大型流通センターを持つ高品質で多品目な農産物の産地である。

**都市部直売施設**

ふれあいロード北池商店会（街づくりネットワーク）

山形県遊佐町との提携により、空き店舗を活用した直売イベント（月2回開催）を継続している。池袋から一つ目の駅・北池袋下車すぐ。周辺は下町風情がある住宅街。今回活用する空き店舗はもと果物店である。

販売期間：2月14日（日）、28日（日）の2日間、12時～午後7時まで（売切れ次第終了）。また、21日（日）～と3月7日（日）～は、地域の協力青果店でフェアを開催。  
 主な出荷品目：はっさく・キウイフルーツ・いちご・キャベツ・きゅうり・トマト・ミニトマト・特産加工品等

実証事業 3

**地方直売施設**

道の駅すえよし「四季祭市場」（鹿児島県曾於市）

大規模な畑作地帯が広がる全国でも有数の農業生産力を持ち、ゆずなどの特産品のほか、有機栽培も盛んな地域である。大隅半島北部の恵まれた土壌で育てられた朝採り野菜だけでなく、特産品のゆずやその加工品、黒豚・黒毛和牛等も販売する。

**都市部直売施設**

武蔵野新鮮館（JA東京むさし）

武蔵野市内産農産物をメインとし、地方特産品や武蔵野市友好都市の商品等も取り扱うJA東京むさしの直売施設。店舗面積約135㎡、平均来店客数約250名/日。三鷹駅から徒歩10分以内で、住宅と商業店舗が混在する立地である。

販売期間：2月15日（月）～2月27日（土）の12日間（日曜日は休館）、午前10時～売切れまで（直売施設の閉館時間は午後6時）  
 主な出荷品目：しいたけ・きゅうり・にんじん・ごぼう・たまねぎ・いちご・アスパラガス・地域特産加工品等

